

---

# 告白

五十嵐 佳代

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

告白

### 【Nコード】

N8816T

### 【作者名】

五十嵐 佳代

### 【あらすじ】

1話に続く連載漫画

美海を泊めることにした裕太。だが、母親わ…………

## 美海と裕太

続き . . . . .

「どう？おいしい？」

裕太は、美海が作ったクッキーを食べて、感想を聞かれた。

「うん。おいしいよ。」

「ほんと？よかった！」

美海は、裕太にそう言ってもらえて嬉しかった。

裕太は、さっきのことが気になっていた。

―― 美海には、両親がいない . . . . .

裕太は、そこで決心した！

（美海と一緒に暮らそう . . . . .）

だけど、そんなこと裕太の親が許してくれなかった。

裕太の親は、去年離婚して今は、母親と二人暮らしだった。

心配をかけさせたくない . . . . .

迷惑をかけたくない . . . . .

けど、美海が可哀想だ。

「美海、一緒に俺の家で暮らそう。」

裕太は、自分でも何言ってるのかわからなかった。

今の言葉を取り消そう、今のことはなかったことに . . . .

そんなことできなかった。

美海が泣きながら嬉しそうな顔でこっちを見ていたのだ。

「裕太 . . . . . あ . . . . . あ . . . . . あり . . . . . うわーん!!」

とても、取り消しなんて言える状況では、無かった。

だけど、母親に迷惑をかけてしまう。  
裕太は、それを一番に思った。

「ただいま。」

「おかえり〜。」

「お．．．おじゃまします。」

「あれ？お客さん？いらつしゃい。」

「あ、どうも。ねえ、裕太ほんとにいいの？とまちやって．．．」

美海は、ちよつと悪いような顔をしていた。

「え？泊まる？裕太？」

「あ、ごめん母さん、迷惑はかけないようにするっからさ。」

裕太は、母親に説明をした。

母親は、分かってくれなかった。

「親がいないからつてなにしてるの！！」

「いいじゃないか！美海は、困ってるんだよ！」

「だからって中学生が異性の家に泊まるだなんて！」

裕太は、母親が何を言おうと美海を泊めることにしていた。

裕太は、美海を守ると決めたのだ。

続く．．．．．

美海と裕太．．．

続き．．．．

「どう？おいしい？」

裕太は、美海が作ったクッキーを食べて、感想を聞かれた。

「うん。おいしいよ。」

「ほんと？よかった！」

美海は、裕太にそう言ってもらえて嬉しかった。

裕太は、さっきのことが気になっていた。

―― 美海には、両親がいない．．．――

裕太は、そこで決心した！

（美海と一緒に暮らそう．．．）

だけど、そんなこと裕太の親が許してくれなかった。

裕太の親は、去年離婚して今は、母親と二人暮らしだった。

心配をかけさせたくない．．．

迷惑をかけたくない．．．

けど、美海が可哀想だ。

「美海、一緒に俺の家で暮らそう。」

裕太は、自分でも何言ってるのかわからなかった。

今の言葉を取り消そう、今のことはなかったことに．．．

そんなことできなかった。

美海が泣きながら嬉しそうな顔でこっちを見ていたのだ。

「裕太．．．．あ．．あ．．あり．．．うわーん！！」

とても、取り消しなんて言える状況では、無かった。

だけど、母親に迷惑をかけてしまう。  
裕太は、それを一番に思った。

「ただいま。」

「おかえり〜。」

「お．．．おじゃまします。」

「あれ？お客さん？いらつしゃい。」

「あ、どうも。ねえ、裕太ほんとにいいの？とまちやって．．．」

美海は、ちよつと悪いような顔をしていた。

「え？泊まる？裕太？」

「あ、ごめん母さん、迷惑はかけないようにするっからさ。」

裕太は、母親に説明をした。

母親は、分かってくれなかった。

「親がいないからつてなにしてるの！！」

「いいじゃないか！美海は、困ってるんだよ！」

「だからって中学生が異性の家に泊まるだなんて！」

裕太は、母親が何を言おうと美海を泊めることにしていた。

裕太は、美海を守ると決めたのだ。

続く．．．．．

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8816t/>

---

告白

2011年10月9日07時58分発行